

電子機器放熱部材における接触熱抵抗と有効熱伝導率の考え方および測定法

パワエレ機器やLED素子など多くの電子機器においては、発熱素子とヒートシンク間の接触熱抵抗が問題となる場合が多く、シリコンラバーやシート、グリース、導電性接着剤などが使用されている。本講座ではこれらの材料を使用した場合の界面熱抵抗も含めた接触熱抵抗を同時に測定する測定法および接触熱抵抗低減の考え方について紹介する。また、プリント基板やグラファイトシートなどの面内方向熱伝導率を簡便に測定する方法についても紹介する。

日時 2014年5月26日(月) 13:00~16:30
会場 連合会館 4階 404 (東京都千代田区神田駿河台3-2-11)
受講料 42,000円 STbook会員価格 39,900円 *資料代含む
 (税込) 2名様以上でお申込の場合(お1人様:31,200円 STbook会員価格 29,100円)
 ※同一会社・法人からの同時申込に限り、上記価格を適用します。

STbook会員とは当社ホームページの登録会員(ログイン機能)です。(無料)

講師 大串 哲朗 氏 広島国際大学 工学部情報通信学科
 (情報通信コース, 機械システム・ロボットコース) 客員教授

略歴

1971年 九州大学理学部物理学科 卒業
 三菱電機(株)入社、中核研究所
 1987年 九州大学工学部機械工学科の熱伝導特性に関する応用に関する研究
 2001年 先端技術研究所機械部熱流体グループ 主席技師長
 2007年 広島国際大学工学部機械ロボティクス学科 教授
 2013年~ 広島国際大学工学部情報通信学科 客員教授

このセミナーは 終了しました

講演詳細

- 接触熱抵抗について
 - 接触熱抵抗の定義
 - 界面熱抵抗の考え方
- 接触熱抵抗の測定法
 - 装置構成と測定原理
 - 接触面の性状
 - 測定精度の検証
- 各種フィラー材の接触熱抵抗
 - フィラー材料を使用しない場合
 - アルミ箔
 - 油(MR-200), H₂O, シリコングリース, フェースチェンジシート
 - シリコンゴムシート(高硬度,低硬度)
- 導電性接着剤熱伝導率測定法
 - 測定原理および測定方法
 - 測定精度の検討
 - 標準試験片を用いた測定精度の検証
 - 導電性接着剤の測定
- プリント基板などの平板面内方向熱伝導率測定法
 - 測定原理
 - 数値解析による誤差解析
 - 測定精度の実験的検証
 - 多層プリント基板の面内方向熱伝導率測定

セミナー申込用紙

セミナー名: ST140526(接触熱抵抗と有効熱伝導率の考え方および測定法)

DM

会社名 団体名			
部署・役職			
ふりがな			
氏名	住所	〒	
TEL	FAX	支払方法	
E-mail	<input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 当日現金		
STbook会員(無料)に	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録済み		
今後、弊社からのご案内が不要な方は 以下に✓印をつけてください。	通信欄 <input type="checkbox"/> 郵送DM不要 <input type="checkbox"/> E-mail不要		

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。

■お申込み方法
 必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
 または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡
 受付完了後、3営業日以内に請求書、受講券、会場案内図を郵送いたします。※お申込み後7日以上経っても受講券・請求書がお手元に届かない場合は、弊社までご連絡ください。
 セミナー申し込み後、受講をキャンセルされる場合は、必ず開催日前日から起算して10日前までにご連絡ください。それ以降のご連絡及び、当日欠席の場合、返金はいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いいたします。代理の方も出席できない場合は資料の送付で出席に代えていただきます。受講料未入金のまま当日ご欠席されてもキャンセルにはなりません。全額請求させていただきますので予めご了承ください。

■お支払
 銀行振込にてお願いいたします。
 受講料のご入金は、開催日までにお願いたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

■個人情報取り扱い
 ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。